

2010年8月6日(金)

計測自動制御学会が台湾で初の海外年次大会を開催 - アジアにおける国際化とリーダーシップを強化 -

社団法人計測自動制御学会 (SICE (The Society of Instrument and Control Engineers)) : 東京都文京区、会長 曾禰寛純氏 (株山武)、会員 5,918 名、以下「本会」) は、本日開催する理事会において、本会が初めて単独で主催する海外での年次大会である国際会議 SICE Annual Conference 2010 in Taiwan (SICE2010 in Taiwan) の開催について公式発表を決定する。

SICE Annual Conference は、本会が主催する計測、制御およびシステムインテグレーションの分野における学問と技術に関するアジア最大規模の Conference である。本会が国際化を進展させるために、2002 年にそれまでの日本語による学術講演会から公式言語を英語とする国際会議とすることに踏み切って以来、順調にその国際会議としての地歩を固め、海外からの論文発表数および参加者数がともに三分の一を超える名実ともに国際会議としての評価を得るに至っている。

本年の SICE2010 in Taiwan は台北で開催されるが、台湾における姉妹学会である Chinese Control Society (CACS) の全面的な協力を得て、本会主催の初の海外での開催となる。国内での年次大会を行わず、海外での国際会議とすることは、日本の理工系学会ではまれであり、本会の国際化への取り組みを強く内外に示すものである。最終プログラムによれば、発表論文数が 20 ヶ国から 747 件であり、1,000 人を超える参加が見込まれ、当初の計画の規模を大きく上回る台湾では過去最高規模の本会分野での Conference となる。

規模的な成功に加え、本会の新しい時代に向けた事業活動の基本方針の一つである、産業界における連携の基盤を確立することの観点からも大きな前進が期待されている。日本における計測・制御業界の工業会である日本電気計測器工業会 (JEMIMA) との連携共同のもとに 21 世紀の世界に貢献する最新の計測・制御技術に関する SICE2010 Workshop が台湾における JEMIMA の友好工業会である Taiwan Electrical and Electronic Manufactures' Association (TEEMA) の協力も得て行われる。これは初めての日本と台湾の計測・制御の分野での学会と工業会のコラボレーションの機会となる。

本会は、来年 2011 年 9 月に創立 50 周年を迎えるが、その前年に行われるアジアにおける歴史的な計測、制御およびシステムインテグレーション分野における国際会議を成功させ、産業界との連携の基盤をも一段と強めることで、21 世紀における地球と社会と産業のために真に貢献する学会への変革を続けて行くつもりである。

以上

参考資料

1. Final Program of SICE Annual Conference 2010 in Taiwan (SICE2010 in Taiwan)
2. 社団法人計測自動制御学会 学会現況 2009-2010 年度版

本発表に関する連絡先

社団法人計測自動制御学会 (SICE) 事務局 (担当：稲島/島貫)
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-35-28-303 電話：03-3814-4121 FAX：03-3814-4699
E-mail：office_std@sice.or.jp 学会HP：<http://www.sice.or.jp>

計測自動制御学会 (東京都文京区本郷1丁目35番28号-303) 1961年9月設立

会員数(2010年7月10日現在): 6,331名 (正会員 5,918名、学生会員 387名、名誉会員 26名)
賛助会員 197社(241口)

支部: 北海道、東北、中部、北陸、関西、中国、四国、九州

部門: 計測、制御、システム・情報、システムインテグレーション、産業応用

活動: Annual Conference(年次国際大会)1,000名規模 / 部門大会 / 支部大会 / シンポジウム・研究会・講習会

刊行物: 会誌、論文集(和文)、英文論文集、産業論文(電子版)

国際: IFAC(国際自動制御連合)、IMEKO(国際計測連盟)、IEEE(米国)、ISA(米国)、ICASE(韓国)、CACS(台湾)などと友好関係にあり、国際的に日本の計測・制御関連分野を代表するアジア地域の中心学会